

現場学習(産業現場等における実習)

目的

- (1) 福祉施設や職場における生活習慣を知るとともに、労働に対する意識が高まるようにする
- (2) 進路先選択や職場適性発見の手がかりを得るための機会とする(主に2年生段階)
- (3) 福祉施設や職場での適応能力を高め、進路決定につなげることができるようにする

対象生徒

高等部2・3年生生徒(卒業後の生活をイメージして取り組みます)

対象生徒

2週間(受け入れの都合等がある場合、御相談ください)

<令和8年度の予定> 実習期間中の土日は除きます。

第Ⅰ期 6月15日(月)～6月26日(金)

第Ⅱ期 10月19日(月)～10月30日(金)



現場実習を実施する大まかな流れ

実習前

受入依頼

- 本校の進路指導担当が現場実習の受入れのお願いに伺います。
- 期日等が決まりましたら、受入依頼書を持参いたします。

打ち合わせ

- 事前に本人・保護者・本校職員と実習先担当者において、打ち合わせを行い、生徒の実態に応じて内容を決定していきます。
→日時は事前にお電話で調整させていただきます。
- 実習内容や勤務時間等の詳細は、打ち合わせ書に沿って確認をさせていただきます。

事前学習

- 打ち合わせの内容を元に、生徒自身が、担任と一緒に現場実習に取り組む目標の設定をしたり、実習期間中における心得などを学習します。

実習中

実習開始

巡回指導

- 実習期間中、職員が訪問(巡回指導)させていただき、必要に応じて現場での指導支援を行います。
- その際、事後学習用として、写真などを撮らせていただきます(実習先の許可を頂いてから撮影します)。
- 実習中、何かありましたら、学校にご連絡ください。

実習後

評価票の作成

- 実習先の方に、実習生の評価をお願いします。評価票は事前にお渡しさせていただきます。
- 良い点のみならず、今後に向けての改善点や課題点なども教えてください。学校での学習、次回の現場実習の参考にさせていただきます。

事後指導

- 評価票を元に、学校での学習活動の中で課題を設定し、取り組み、改善を図ります。

→ PDCAのサイクルで、生徒自身の課題改善と成長につなげていきます

- ◆ これまでの評価(実習及び学校での学習・生活状況等)をもとに、実習実施の可否を学校と実習先(企業・福祉施設)で協議の上、決定します。希望調査どおり実習ができるとは限りません。
- ◆ 実習先の希望が複数名重複した場合、3年生の希望が優先となります。
- ◆ 希望した企業や福祉施設での実習受け入れが、卒業後の雇用や施設利用に直接つながる保証はないので、複数の実習先を計画的に経験していくことを推奨します。